

# 令和2年度 事務事業総点検シート(1)

## [ 令和元年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名	社会的実践力向上推進事業			シート番号	038-035
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	学校指導
				課	評価責任者(課長名)
					後藤

### Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	学ぶ力・生きる力の育成	有
	2	事業開始年度	平成 30 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	教育基本法第2条、第5条 学校教育法第21条 学習指導要領			
	4	関連計画	堺市教育大綱、第2期未来をつくる堺教育プラン			
5	事業実施の経緯	<p>企画推進グループの業務整理にともない、「子ども堺学」「環境・防災教育」「子どものアートによる地域活性化事業」を統合し、「社会的実践力向上推進事業」とした。</p> <p>&lt;子ども堺学&gt; 堺の教育資源(歴史、伝統、文化、産業、自然、キャリア、環境や防災、人々など)を学ぶことを通して、堺に愛着と誇りをもつとともに、地域や国際社会に主体的に参画しようとする資質や能力を育成する。特にキャリア教育においては、子ども一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて発達段階に応じた体系的な推進が求められている。</p> <p>&lt;環境・防災教育&gt; 地球温暖化をはじめとする環境問題に対応し、環境と経済が調和するまちづくりを進めることが重要であり、環境モデル都市である本市においては、市民・企業・行政などが連携し、それぞれの役割を果たす必要がある。その一環として、将来を担う子どもたちが、持続可能な社会の実現に向けて当事者意識を持ち、地域の実情に応じた防災教育を推進する必要性がある。</p> <p>&lt;子どものアートによる地域活性化事業&gt; 子どもを取り巻く生活環境や社会環境の変化に伴い、生きることの大切さや自己の豊かな生き方を描くことが難しくなっているなか、子どもの自尊感情や規範意識を醸成し、豊かな心を育成することが求められている。また、全国中学校美術部作品展を軸とした、子どもたちの文化芸術活動を通して、本市のエクスカッション(体験型見学会)を創出する。</p>				

### Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 有償ボランティア )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市立小中学校の児童生徒				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺の歴史・文化・環境・防災・情操教育等とおして、子どもたちの社会的実践力を育む。				
9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ポリシーなど)	<p>&lt;子ども堺学&gt; ○子ども堺学 ・子ども堺学サポーターの活用 (各学校園に地域学習、環境・防災教育、キャリア教育サポーター、及び茶の湯指導者を各校12回配置) ・子ども堺学推進校の指定による研究発信(小学校1校、中学校1校) ○キャリア教育 ・キャリア教育教員研修の実施(キャリア教育の推進リーダー的役割を担う教諭を育成するため研修実施) ・エキスパート派遣(キャリア教育の講師等を派遣) ・堺ゆめ授業「ようこそ堺の先輩」(各校が招聘したキャリア教育講師による授業に対し、講師謝礼金を支払う) ・トップアスリート派遣 (JFAと連携した夢先生や、セレッソ大阪の選手またはスポーツ分野における専門的知識・技能を有する人材を、キャリア教育の講師・指導者として派遣) ・「キャリアマップ」の活用(中学校1年生に配布し、自分のキャリアプランニングに活用) ・「キャリアパスポート」の活用(児童生徒が自己実現につながるために活用。市教委からファイルを配布)</p> <p>&lt;環境・防災教育&gt; ○環境・防災教育 ・グリーンカーテン整備 (ゴーヤ等の栽培によって室内の気温上昇を抑える体験から、省エネルギー意識を育成。50校園程度で実施) ・防災教育研修(「防災教育指導のてびき」を活用した防災教育カリキュラム研修等を実施)</p> <p>&lt;子どものアートによる地域活性化プログラム&gt; ○交響楽団芸術鑑賞 (音楽ホールで本物のオーケストラによる音楽の鑑賞や、実技指導、指揮体験など、オーケストラ音楽に触れる機会を提供することにより、子どもたちに音楽を愛好する心を育て、豊かな情操を養う) ○アートクラブグランプリin SAKAI(全国中学校美術部作品展) (全国の中学校美術部等から優れた作品を募集・展示し、生徒どうしが学びあい、交流する場をつくり、美術への関心と意欲を高め、創造性豊かな世界にはばたく人材を育成する)</p>					
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ○キャリア教育・・・公益財団法人日本サッカー協会(JFA) ○アートクラブグランプリ・・・全国中学校美術部作品展実行委員会 ○交響楽団・・・一般財団法人大阪交響楽団					

### Ⅲ. 投入量

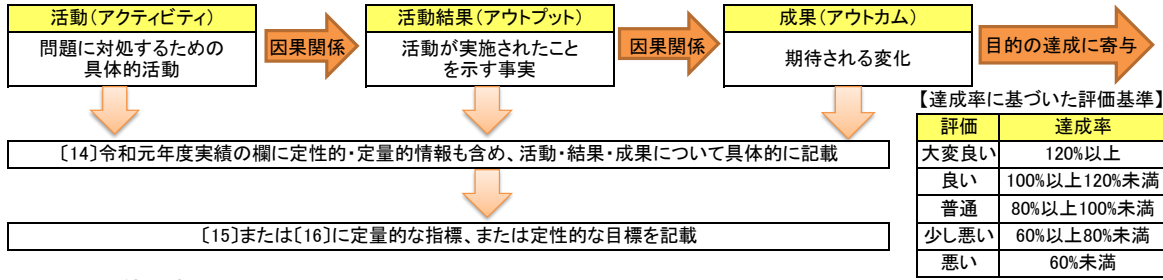
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
	事業費(a)	千円	116,481	131,901	113,250	102,297	113,366	105,669	113,658
11	主な事業費内訳	千円							
	子ども堺学(キャリア教育含む)	千円	19,695	12,836	17,185	13,231	16,313	14,405	17,871
	子どものアートによる地域活性化プログラム	千円	27,787	54,402	27,424	27,335	26,385	26,297	29,322
	堺・スクールサポーター(学校園支援サポーター)	千円	63,615	59,978	63,447	57,485	60,409	54,531	56,907
	環境・防災教育推進事業	千円	4,244	3,895	4,244	3,455	2,612	2,072	1,093
	国・府支出金	千円	23,741	20,766	23,548	15,307	21,289	14,753	18,968
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他(ゆめ基金、寄付金等)	千円	32,200	31,336	31,800	30,631	29,400	28,697	36,060
	一般財源	千円	60,540	79,799	57,902	56,359	62,677	62,219	58,630
12	人件費(b)	千円	5,740	5,740	5,740	5,740	5,670	5,670	5,740
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	122,221	137,641	118,990	108,037	119,036	111,339	119,398

# 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	社会的実践力向上推進事業	シート番号	038-035
-------	--------------	-------	---------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)》

### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	<p>○子ども塚学については、各学校において市教委が作成配布したモデルカリキュラムや学習プログラムを活用し、各校の地域の特性を生かした特色ある実践を推進するとともに、子ども塚学サポーターとして推進校に18回、それ以外の各校に12回を配当した。その結果、各学校において古墳や当時の歴史について子どもたちが主体的に学ぶ学習や、塚スタンダードである茶の湯の体験が効果的に実施され、塚を愛し、塚を誇りとする児童生徒の育成につながった。</p> <p>○キャリア教育については、エキスパート・キャリア教育支援事業として6校に、トップアスリート事業として7校に、塚ゆめ授業として6校に派遣または招聘した。その結果授業を受けた子ども一人ひとりが社会的・職業的な自立に向かうことにつながった。</p> <p>○環境・防災教育については、28校に環境・防災教育サポーターの配置及び48校園でグリーンカーテンの整備を実施した。体験活動や実証実験を通じて環境保全に関する興味関心を高めることができた。</p> <p>○交響楽団芸術鑑賞については、フェニーチェ塚等市内の音楽ホールにおいて小学校84校の4～6年の任意の1学年に対して実施した。児童が本物の芸術に触れることにより、豊かな情操を養うことにつながった。児童へのアンケートでは、「とてもよかった・よかった」と回答した児童98.1%、「また、オーケストラのコンサートに行きたい」と回答した児童92.4%となっている。</p> <p>○アートクラブグランプリinSAKAIについては、全国337校から3715点の応募があり、生徒同士が学びあい、高めあう場となった。今年度市役所エントランスホールでの佳作作品展示を実施したが、今後さらに多くの人の目に留まる工夫を行うことで、応募数の向上を見込むことができると考えられる。</p>						
	14	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはありますか」と答えた児童数と割合(堺市学力調査質問項目)(小学校6年平均値)	%	目標値 40	52	54	56
				実績値 3616(49)	4027(52)	3784(54)	
				達成率 122%	100%	100%	
				評価 良い	良い	良い	
		算出方法・設定根拠など	小6の全児童へのアンケート調査				
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはありますか」と答えた生徒数と割合(堺市学力調査質問項目)(中学校2年平均値)	%	目標値 36	38	40	42
				実績値 2431(36)	2504(38)	2663(41)	
				達成率 100%	100%	103%	
				評価 良い	良い	良い	
		算出方法・設定根拠など	中2の全生徒へのアンケート調査				

### 事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	① 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはありますか」と答えた児童数(堺市学力調査質問項目)	人	3,616	4,027	3,784
	② 上記①にかかる年間経費	千円	137,641	108,037	111,339
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	38,064	26,828	29,424
備考(算出についての説明等)					
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	① 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはありますか」と答えた生徒数(堺市学力調査質問項目)	人	2,431	2,504	2,663
	② 上記①にかかる年間経費	千円	137,641	108,037	111,339
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	56,619	43,146	41,810
備考(算出についての説明等)					

### 業績の分析

19	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>本事業を活用した総合的な学習の時間等の授業において、自分の学んだことや調べたことを発信することによって学校や地域の意識を変えた経験から、自分がすることが社会や地域に役立っているということが実感できる児童生徒が増えている。また、キャリア教育講師の講演や授業により何をすることが自らの自己実現につながるかの見通しをもつことができ、地域や社会とのつながりを意識することができたと考えられる。また、子どものアートによる地域活性化プログラムでは、交響楽団芸術鑑賞後のアンケートにおいて「また、オーケストラのコンサートに行きたい」と回答した児童の割合が92.4%となっており、この経験が今後の関連施設における収益を間接的に向上させる要因となると考えられる。アートクラブグランプリinSAKAIは、巡回展の実施やHPのリニューアルや開催場所の工夫により中学生絵画の全国大会としての知名度も向上させており、全国からの問い合わせが増えている。</p>	<p>【分析のチェックポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業の達成度はどうでしたか。</li> <li>○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。</li> <li>○ 資源投入は適切でしたか。</li> <li>○ 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。</li> <li>○ 有効性は高いですか。低いですか。</li> <li>○ 効率性は向上していますか。</li> <li>○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。</li> <li>○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。</li> </ul>
----	---	--

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	社会的実践力向上推進事業	シート番号	038-035
-------	--------------	-------	---------

《 V. 点検 》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 上記で示した効果が見込めなくなる。堺を愛し、誇りとする子どもたちが減少することで、未来の堺を支える人材の流出、納税者の減少などの問題起こると考えられる。また、芸術の街SAKAIとして今後の収益を見込むためには、芸術鑑賞やアートグランプリへの先行投資が必要であると考えられる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 子ども塚学・環境防災教育・アートクラブグランプリについては休止できない。芸術鑑賞についても本来であれば休止すべきではないと考えるが、コロナ禍が続く中では実施自体が困難であるため、休止せざるを得ない。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 グリーンカーテン事業については、段階的に減額し、令和4年度末で終了とする。その他の事業についてはこれまでもコスト縮減を図ってきており、これ以上の縮減を行うと、各事業のねらいとする効果を得ることができない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要があるか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 交響楽団芸術鑑賞については、令和2年度は中止せざるを得ないが、今後、席に余裕を持たせて実施するなどの工夫が必要となる。その場合、実施日数を増やすなどの対策により、予算の上乗せが必要。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( 環境都市推進部 ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他( )	理由・説明 環境教育の取組については、SDGsやESDとの関連があることから、環境政策課との連携を進める中で、目的達成のためにより効果的・効率的な事業を検討できる可能性がある。ただし今日的な課題である環境教育について事業を縮小することは困難である。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		今後の堺市の持続可能な発展を考えるうえで、令和2年度やむなく休止となる交響楽団芸術鑑賞も含めて、社会的実践力向上推進事業の全ての事業について来年度以降も継続して実施する必要がある。子ども塚学については義務教育段階で堺について学び、堺を愛する情操を養うことで、将来的に堺を大切に思い堺のために働く人材や堺市への納税者を増加させることができると考えられる。環境・防災教育については、環境モデル都市堺として環境維持のための取組が自主的に促進する社会づくりを進めていくためには、義務教育段階での環境を意識した学習が絶対に必要であると考えられる。自由都市堺文化芸術まちづくり条例における市の責務である「文化芸術の振興に関する施策を総合的かつ計画的に実施する」ことを推進していくためにも、小学校段階での交響楽団芸術鑑賞及び、全国中学生の美術の祭典であるアートクラブグランプリinSAKAIについては、現在の状況下であるからこそ堺市の特色として今後も継続していくことが必要であると考えられる。		